



平成 10 年の桜座開館当初より、カラオケ大会のホール業務や照明の研修参加、駐車場の清掃・芝生の管理など、桜座で実施される事業に積極的に協力し、管理運営を支えてくれています。

PICK UP CONTENTS

P 2	[特集] 令和2年度当初予算
P 6	かわせみからのお知らせ
P 10	子育て・健康応援ページ
P 12	高北病院
P 13	お知らせ
P 20	さかわ観光協会
P 22	ボタニカルニュース
P 23	青山文庫だより & 文芸
P 25	学校だより-斗賀野小学校-
P 26	さかわ発明ラボNEWS
P 27	あいさつ標語入賞作品

令和2年度

当初
予算

令和2年度当初予算は、「すべては、佐川町を幸せなまちにするため、住民の幸せのために」を経営理念に置き、世界一幸せなまちを「まじめに、おもしろく。」みんなで創る。を経営方針としたうえで、これを実現するための予算を編成しました。

一般会計の予算規模は、総額77億7818万5千円、対前年度比、9億9052万9千円、14.6%の増額予算となりました。増額の主な要因は、町民

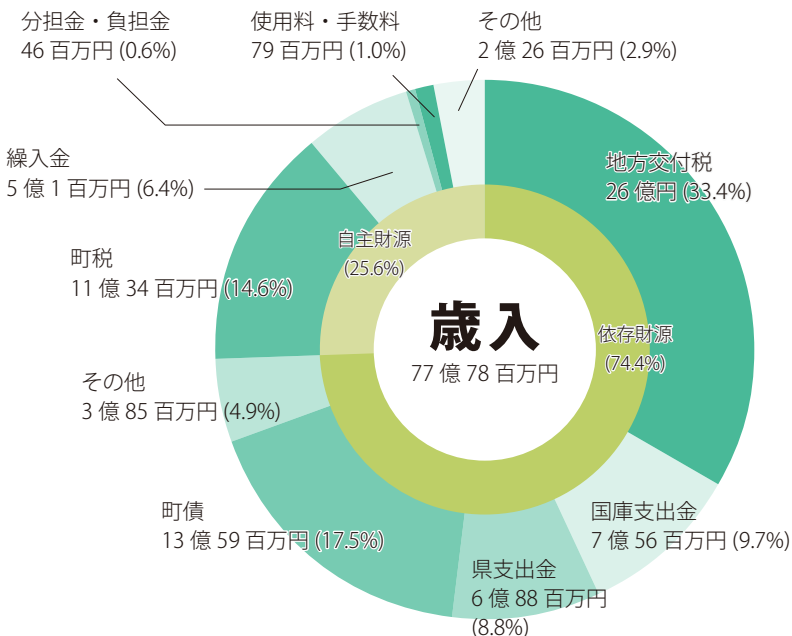
の安心・安全に直結する、防災行政無線の更新、役場庁舎及び総合文化センターの非構造部材等の耐震化を実施する費用を計上したことによるものです。

これらの事業は、すべて緊急防災・減災事業債を充当できる予定ですので、これによって令和2年度の収支に影響を及ぼすことはありません。また、元利償還金に対する70%が交付税措置される大変有利な起債ですので後年度の負担も大きく軽減されます。

佐川町の令和2年度当初予算 佐川町議会3月定例会で可決

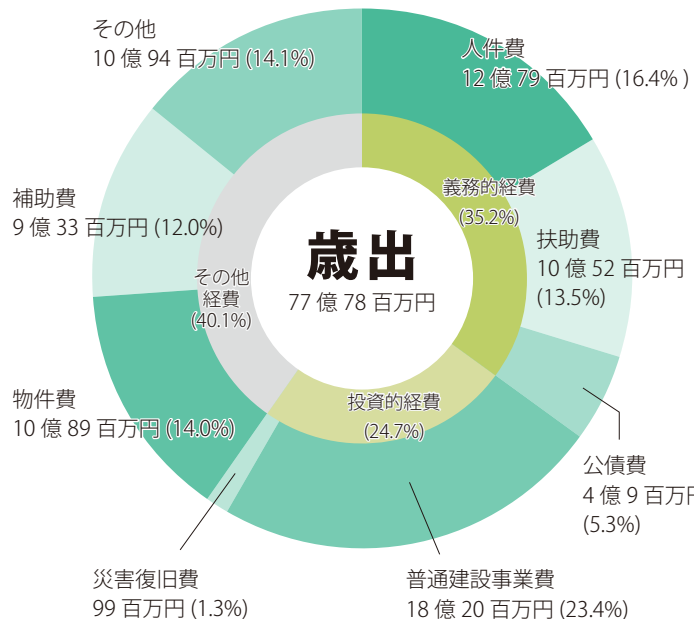
歳入

77億78百万円



歳出

77億78百万円



- ・人件費：職員、議員、各種委員等に支払う給与や報酬
- ・扶助費：高齢者、児童、身体障害者、生活困窮者等の援助に要する経費
- ・公債費：町債（借入金）の元利償還金（返済金）
- ・普通建設事業費：道路、学校、住宅など公共施設等の整備に要する経費
- ・災害復旧事業費：災害によって被害を受けた道路や農地等を復旧するための経費
- ・補助費：団体や個人に対しての補助金及び高吾北広域事務組合（ゴミ、し尿、消防等）などへの負担金など
- ・物件費：備品の購入、光熱費、委託料、コピー用紙等の消耗品などの経費
- ・その他：他会計（病院、水道など）への補助金や出資金など

【各会計の予算額】

（単位：千円）

会計名		令和2年度	令和元年度	増減	伸率
一般会計		7,778,185	6,787,656	990,529	14.6%
特別会計	国民健康保険事業	1,962,268	1,935,044	27,224	1.4%
	学校給食事業	59,664	60,812	▲1,148	▲1.9%
	農業集落排水事業	35,629	28,848	6,781	23.5%
	介護保険事業	1,859,125	1,831,302	27,823	1.5%
	後期高齢者医療事業	232,258	237,053	▲4,795	▲2.0%
	計	4,148,944	4,093,059	55,885	1.4%
水道事業		333,404	333,424	▲20	▲0%
病院事業		2,005,695	2,144,716	▲139,021	▲6.5%
総計		14,266,228	13,358,855	907,373	6.8%
重複額（他会計繰出金）		866,761	861,059	5,702	0.7%
全会計純計		13,399,467	12,497,796	901,671	7.2%

※水道事業及び病院事業会計の予算額は、（収益的支出額＋資本的支出額）を計上。

安全・安心

防災行政無線更新事業

1 億 9,290 万円 7 千円

整備後 16 年を経過する佐川町防災行政無線の安定的な運用を確保し、町民の皆様へ防災情報等の確実な伝達を行うために、佐川町防災行政無線の更新を行います。

佐川町総合文化センター非構造部材等の耐震化及び大規模改修事業

3 億 8,999 万円 9 千円

施設の長寿命化を図り、災害時には安全、安心に避難していただける拠点避難所にするため、非構造部材等の耐震化及び大規模改修を行います。

佐川町役場庁舎非構造部材等耐震改修事業

2 億 5,963 万円 1 千円

災害発生時には、災害対策本部が設置され、被災者の方の救助や支援、災害復旧等を担う防災拠点となる役場庁舎を、災害発生直後から庁舎を安全に継続して使用できるように、非構造部材等の耐震化などを行います。

消防施設整備事業

7,355 万円 8 千円

老朽化した尾川消防屯所の新築や、消防自動車の更新などにより、佐川町消防団の機能強化や防災体制の強化を図ります。

財政運営の見通し

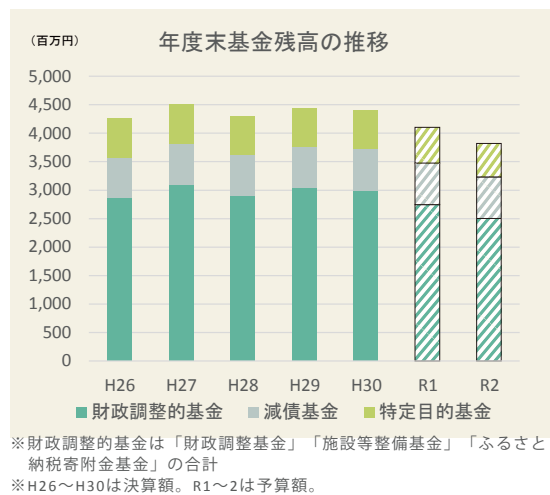
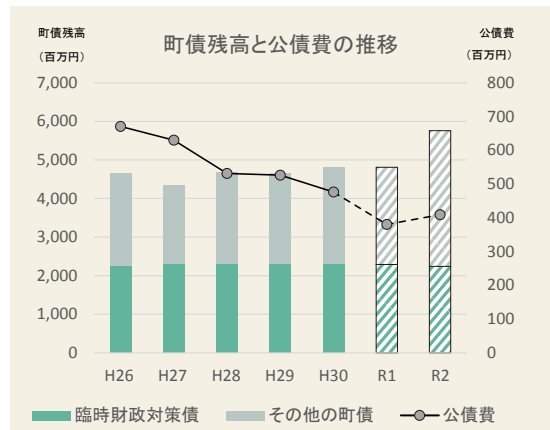
①公債費と町債残高の状況

普通建設事業などの財源として町が借り入れる町債残高の半分近くは、国の財源不足による地方交付税の不足分を補う“臨時財政対策債”が占めています。その償還金は、地方交付税として国が全額負担することになっています。また、その他の町債も、償還金の一部が地方交付税として国から交付されるものを活用しているので、町が実質的に負担する額は、大幅に圧縮されることとなります。今年度の予算では、防災行政無線の更新、役場庁舎及び総合文化センターの非構造部材等の耐震化等を実施するための財源として約 13 億 6 千万円を借り入れる予定ですが、過去の借入の償還が進むことにより、今後の財政運営に大きく影響を与えることはないと見込んでいます。

②基金残高の推移

例年、当初予算編成時には財源不足を補うために、基金繰入金を 4 ～ 10 億円程度計上していますが、繰越金等の財源増や歳出の不用額が発生することなどにより、実際の繰入金の決算額は大幅に圧縮されています。今年度の財政調整基金からの繰入金は、令和元年度より、2 億 5,725 万 2 千円減の 1 億 3,209 万 2 千円に縮減しています。これは、大幅に増加したふるさと納税寄附金基金から、2 億 407 万 6 千円を繰り入れることが大きな要因です。

※平成 26 年度、令和元年度の消費税増税に伴い、社会保障に係る費用の財源として交付されている「地方消費税交付金（社会保障財源化分）」が充てられる事業については、佐川町ホームページに掲載していますのでご覧ください。



新図書館・新青山文庫整備事業

120 万 7 千円

「情報の拠点」「生涯学習の拠点」「町民生活の拠点」となる、新図書館の整備方針と新青山文庫の基本構想を策定します。

ふるさと教育推進事業

9,331 万 8 千円

令和 2 年度からの 3 年間で不登校の改善や学力向上に重点的に取り組み、ふるさと教育の充実、ICTを活用した教育の推進などを行います。

観光振興と情報発信

まちまるごと植物園事業

1,192 万 9 千円

牧野公園の整備を進めるとともに、牧野公園を核として、町内の貴重な植物を守り慈しむ心を育む「まちまるごと植物園」の取り組みを町内へ広げます。合わせて生誕祭などのイベントを実施することで「牧野富太郎を生んだ、植物の町さかわ」を町内外に発信します。

観光客受入体制整備事業

9,788 万 9 千円

上町地区周辺整備事業として上町地区の一層の魅力向上による誘客促進や情報発信の充実を図るために、休憩スペースや観光案内機能を合わせ持つ JR 客車収容施設を整備します。また、昨年に引き続き「わんさかわっしょい体験博」を開催するとともに、町内外への観光情報発信を担う JR 客車を含む「さかわ観光協会」運営の補助をします。

産業と仕事

さかわ産商品開発、流通・販売体制整備事業

1,138 万 8 千円

地域資源を活用した、佐川町ならではの特産品の開発、ブラッシュアップを行います。また、道の駅整備に向けて、新たに検討委員会を立ち上げ、基本計画を策定します。

農業振興事業

1 億 1,340 万 5 千円

農道や水利施設等を整備する基盤整備事業、地域農業を守る取り組みとして集落営農等支援事業、多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業、また、農業の担い手を確保・育成するため佐川町新規就農研修支援事業を行い、佐川町の農業振興を推進します。

結婚・出産・育児

子育て支援事業

7 億 5,766 万 5 千円

「子育てしやすいまち」宣言をした佐川町として、新婚生活応援事業をはじめ、ハッピーマタニティーライフ事業、子育て世代包括支援センター事業、ファミリーサポートセンター事業、元気になあれ（病後児保育）事業、町内保育所の運営、児童手当、乳幼児医療費助成事業、障害のある子どもへの支援等を実施します。今年度からは、高知県が運営している、出会いを誠実に希望する 20 歳以上の独身の方の 1 対 1 の出会いをサポートするマッチングシステム「高知で恋しよ !! マッチング」の入会登録料を助成することとしており、出会いから子育てまでの各段階を支援します。

健康と福祉

あったかふれあいセンター事業

4,713 万 2 千円

誰もが気軽に集い必要なサービスを受けることができる地域福祉の拠点を、既存の 4 カ所に加え新たに佐川地区に整備し、地域ニーズの把握や課題に対応した小規模多機能支援拠点としての活動や、見守りや生活課題に対応した支え合いのしくみづくり等の地域福祉活動を推進します。